

## 次期国民健康づくり運動プラン（令和6年度開始）策定専門委員会

### 主なご意見

#### 骨子（案）について

##### <前文関係>

○「社会変化」について、高齢者の就労について記載すべき

##### <健康寿命の延伸と健康格差の縮小関係>

○健康格差について、第二次にある記載ももとに、定義などの記載を入れるべき

##### <個人の行動と健康状態の改善関係>

○生活習慣病ががん、循環器疾患、糖尿病、COPDの4つだけと捉えられることのないような記載とすべき

○個人を目立たせる記載になっているが、所属する集団の特性にも着目すべきであり、「個人・集団の行動と健康状態の改善」とすべき

○「生活機能の維持・向上」については、ICF（国際生活機能分類）の定義もある中で、表現・名称やどういった内容を含むかに関して、検討・工夫すべき

##### <ライフコース関係>

○ライフステージは生物学的なものである一方、ライフコースは生活環境や多様な人生といった概念も含む。両者の定義の違いを読み手が分かるようにしっかりと記載すべき

○ライフコースについては「胎児期から」という視点を入れてはどうか

##### <その他>

○期間が12年間もあるので、気候変動の影響も考える必要がある

○認知機能・フレイルは、高齢化の視点から入れ込むことを考える必要がある

#### 方向性（案）の図について

○自治体や産業保健・税制など社会の制度仕組みと連動して動いていくことが見えづらい。他の分野も巻き込んでいくということを考える必要がある

○個人が環境の上に乗っているだけで関係性が分かりづらい。動きがあるような見せ方にしてもらいたい

## 目標（案）について

### <総論>

- 目標の設定ポリシーもあわせて記載すべき
- 地域職域連携やデータヘルス計画等との連動、関係性について意識し、はっきりさせるべき
- 目標の粒度を揃えるべき
- 各目標をブレイクダウンし、都道府県ごと、保険者ごと、年齢別等の管理目標を示すのがよい。また、目標指標間の関係性の整理ができるようにすべき。目標のためにどんな施策ができるのか可視化すべき
- NDBやKDBなど他のデータソースとも連携すべき
- 年齢調整すべき目標は整理した方がよい

### <健康寿命の延伸と健康格差の縮小関係>

- 第二次において示している健康寿命の副指標について、同様に留意が必要と示すべき
- 参考資料レベルかもしれないが、平均自立期間を出した方が自治体（特に市区町村）の助けになる
- 下位4分の1だけを見ても格差が縮小できたかは確認できない。上位4分の1などとあわせて見る目標とすべき
- 栄養や身体活動など分野別で健康格差の目標を立てるなど工夫すべき。また、社会経済状況による格差に関する目標も検討すべき
- それぞれの目標についても、県・保険者ベースの健康格差が分かるように見える化すべき

### <生活習慣の改善関係>

- 高齢者のBMI 20 以下が栄養・食生活に入っているが、高齢者のやせはフレイルの側面が強く、若い人とは状況が違ふ。フレイルの目標として高齢者に入れるべきではないか
- 果物について、扱いは慎重に検討すべき
- 身体活動・運動分野に座位行動の目標を追加すべき。これ以上目標を増やせないならば、運動習慣者の目標を代わりに削除するのがよい

### <生活習慣病の発症予防・重症化予防関係>

- がん検診受診率については、データソースの信頼度に懸念がある。検診の5がんの進行度を活用してはどうか
- がん検診受診率と精検受診率とを併用してはどうか
- がん検診受診率は、生活習慣の改善ではなく、重症化予防に属するのではないか
- 高血圧の改善という目標に関して、高血圧ではないのに、血圧値を無理に下げて、フレイルになってしまうといった、誤解を招かないような記載とすべき
- 糖尿病の部分にはCKDが入っているが、糖尿病腎症以外のCKD（腎硬化症など）についても含めるべきではないか

- 糖尿病のコントロール不良者の減少について、高齢者はコントロール目標が個別に設定されているため、目標もそれらを踏まえて検討すべき
- 糖尿病の合併症について、合併症（糖尿病腎症による透析導入）という記載になっているが、糖尿病の合併症には網膜症や動脈硬化などもあり、検討すべき
- 糖尿病・CKDはロジックモデルが必要
- 平均値は下がってもハイリスク集団を見逃すことがある。カットオフ以上・以下の割合を見ればハイリスク集団を発見できるため、その点を考慮すべき
- 循環器の目標については、第二次策定時に、診療ガイドラインを参考にし、カットオフ値以上の人は医療の対象と整理した経緯がある
- 平均か割合かについては、ポピュレーションアプローチを使うべき

#### <生活機能の維持・向上関係>

- こころのセクションを独立して設けるべき
- 自殺関係、認知症関係の目標を入れるべき
- 健康寿命との関連が強いため、介護関係の指標データも入れてほしい

#### <ライフコース関係>

- 「女性」を入れている趣旨が分かりづらい。ジェンダーフリーの流れがある中で、生物学的な側面から女性への健康支援の必要性をきちんと記載すべき
- リプロダクティブヘルスのことを考慮するならば、女性は次世代の前である胎児期から伸びているべきではないか
- 男性の肥満は悪化しているため、ライフコースに男性の観点を入れることも重要
- ライフコースに就労世代を入れるべき
- 就労の観点は入れた方がいいが、就労世代はライフステージにあたるのではないか。ライフコースとの使い分けをはっきりさせるべき

#### <その他>

- 生活習慣病に対するスティグマについても検討してほしい。普及啓発関連の目標とすることもあり得るのではないか